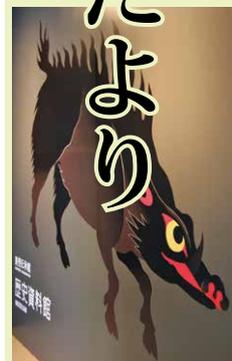


歴

史資料館だより



No.101
教育委員会文化財課
文化財グループ
(☎58-5111・75-3111代表)

文化財課
ホームページ

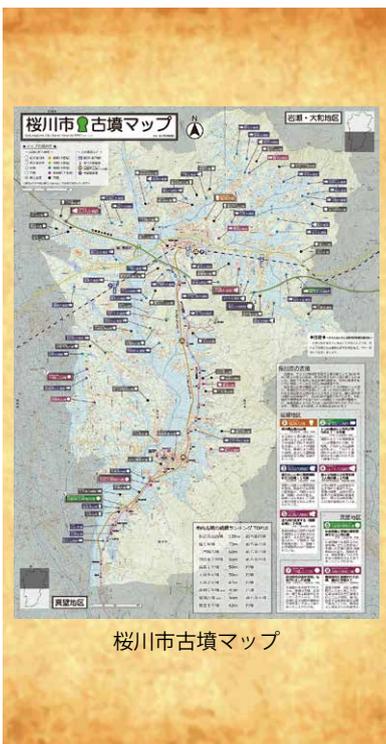


大地に残る古代の営み／古墳

古墳は、主にその地域を支配する者の墓として、約1,600年以上前から造られ始め、約400年にわたり造られ続けました。現在でも各地に残る古墳などの遺跡は、造られた当時のことを物語ってくれる大切な地域遺産です。

古墳マップ できました

このたび市内の古墳マップを作成しました。古墳や古墳群の場所のほか、発掘調査で分かった古墳のトピックス、市内の古墳の大ききランキングなどを掲載しています。古墳マップは文化財課ホームページからダウンロードできます。ぜひ、身近な地域の古墳の場所を確かめてはいかがでしょうか。



桜川市古墳マップ

鴨鳥五所神社に残る室町時代の棟札

修理が始まった大泉地区の鴨鳥五所神社には、中世の棟札も残されています。棟札とは、建立や修理の際に年月日や大工棟梁、経緯などを記して建物に納めたり、打ち付けたりした木札です。昭和初期には応安2年(1369年)の結城氏による棟札もあったようですが、芳賀氏による応永29年(1422年)と永享7年(1435年)の棟札は県指定文化財になっています。

賀四郎入道沙弥道音「政所京都庄主」「大泉郷堀内之御百姓等御同心」とあります。芳賀四郎は芳賀氏の一族で坂戸城を築いた小宅氏と考えられ、大泉を含む中郡が京都市町幕府の御料所(直轄領)だったことも分かります。裏面には「大泉之堀内乃五所権現の御修理の時のり物」「御こし(輿)かりとの(仮殿)へまいらする」「御興かゝけ(掲げ)まいらする」「ぬの五たん、くるこめ八升」「神馬一疋」「まくさ(秣)いね(稲)ハ一反二一は(把)つゝまいらせ」など室町時代の祭祀時の具体的な内容も記され、この棟札だけでも一級の歴史史料となっています。



鴨鳥五所神社
本殿造営棟札
(永享七年)



土曜・祝日も営業



【茨城県指定】地域リハビリ・ステーション

- ・通所介護 (3時間・1日・送迎あり)
- ・居宅介護支援 (ケアマネージャー) ・訪問介護

リハビリハート総合介護ケアセンター

理学療法士 本橋 寛樹

介護・リハビリの
ご相談や見学 **0296-73-6965**

桜川市西桜川2-18-5
国道50号沿い マクドナルドさん南側 茨城トヨタさんとなり